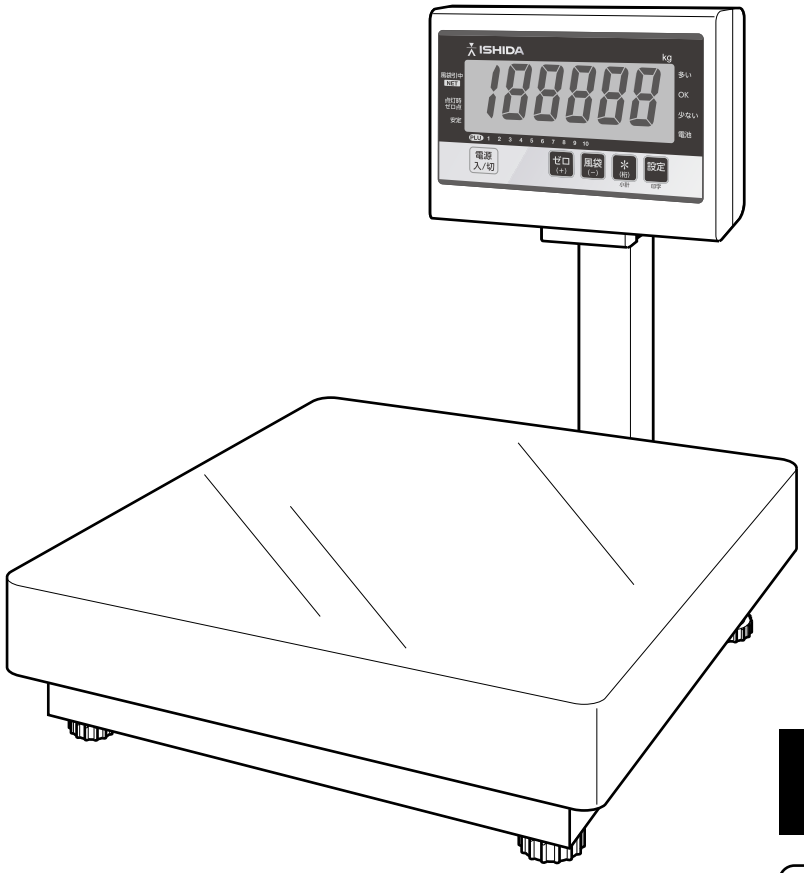
ISHIDA

デジタル台はかり

IWR



取扱説明書

・この説明書を読み、理解するまでは、据付、操作および保守・点検を行わないでください。
・この説明書は、機械の据付、操作および保守・点検を行う場合、いつでも調べられるように大切に保管してください。

株式会社イシダ

100-075-4469-00

はじめに

このたびは、「IWR」(以降、本製品) をご購入いただき誠にありがとうございました。
本製品はデジタル台はかりです。IWR-B、IWR-G は乾電池でも動作します。
本書は、本製品の操作方法と、ご利用上の注意事項などについて詳しく説明しています。
本製品を安全で、効果的にご利用いただくために、ご使用の前に本書をよくお読みください。
また、お読みになった後も大切に保管してください。
本書に従わなかった場合、重大な事故に結びつくことがあります。

おねがい

- 本書において掲載されているすべての内容の著作権は、株式会社イシダに帰属しています。事前の許諾なく無断で転載・複製・改変・配布・公衆送信等を行うことは、法律により禁止されています。
- 本製品内のコンテンツ（画像、イラスト、その他）の著作権は、著作権法によって守られています。これらのコンテンツを株式会社イシダの許諾なく無断で複製・改変・配布することを一切禁止します。
- 製品の改良などにより、本書の内容に一部、製品と合致しない箇所の生じる場合があります。ご了承ください。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 万全を期して本書を作成していますが、内容に関して、間違いやお気づきの点がございましたら、ご連絡いただきますようお願い申し上げます。
- 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えします。購入先または株式会社イシダお客様窓口までご連絡ください。
- 機器、システムの本体トラブルについては、個々のメンテナンス契約に準じた対応をさせていただきますが、本体トラブルによる作業停止などの副次的トラブルについては、その責任を負いかねますのでご了承ください。

本書の表記について

この取扱説明書の各ページの操作説明欄は、次のような構成になっています。

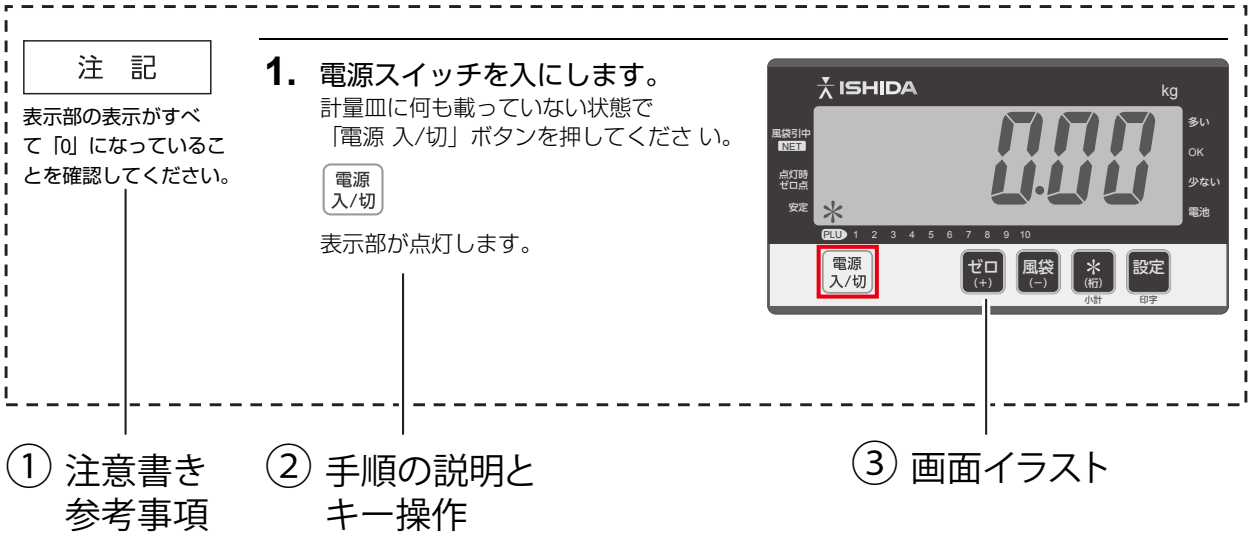
本書に使用されている本製品の画面は、あくまで一例です。設定によりボタンや表示などの位置、大きさ、色などは変更されている可能性があります。

操作説明欄の構成

① 各ページの左側には、特に注意していただきたいことや、参考文、参照ページなどを示しています。

② 操作手順を説明し、その下にキー操作を記載しています。

③ 操作手順に沿った画面表示やイラストを示しています。



① 注意書き 参考事項

② 手順の説明とキー操作

③ 画面イラスト

重要なお知らせ

●本製品の使用開始をもって、購入者は本書に記載されたすべての条項を承諾したものとみなし、法的に拘束されるものとします。

●本製品には、潜在する危険があることを知っておく必要があります。したがって本製品の据付、操作および保守・点検を行う場合には、必ず本書に従ってください。

●もし本書に従わないか、あるいは不注意や誤用・無断改造によって発生した、いかなるけがや損害についても、株式会社イシダおよびその販売会社は責任を負いません。

●現在の産業装置業界では、新しい材料や加工方法、および機械の高速化によって潜在する危険が増加しています。これらの危険について、すべての状況を予測することはできません。また「できないこと」や「してはいけないこと」は極めて多くあり、取扱説明書にすべてを書くことはできません。取扱説明書に「できる」と書いていない限り、「できない」と考えてください。本製品の操作、清掃、点検を行う場合は、本書に書かれていること、および本製品本体に表示されていることだけでなく、安全対策に関しては十分な配慮をしてください。

●本製品を使用する際は、安全確保のため労働安全衛生法等の関連法規を守ってください。

●株式会社イシダは、本製品が仕様に適合していることを保証します。不適合については、保証期間内に限り、お買い上げの販売元にて無償で修理または交換します。

●不適合により生じた損害については、当該不適合の存在した本製品単体の価格を上限として賠償するものとします。ただし、逸失利益、特別損害（予見可能の有無を問わない）、拡大損害および間接損害については、損害賠償の範囲から除外されるものとします。

●本製品の取り扱い、保管、設置、保守が不適切であった場合、または汚染、乱用、誤用、改変された場合、株式会社イシダは本製品に関する保証、修理、その他の請求について一切責任を負いません。

●次の例示されるような場合は、保証対象となりません。

- 取扱上の不注意（過失）による故障の場合
- 本製品が仕様書、本書等および注意書等に定められた条件または範囲を逸脱して使用された場合
- 株式会社イシダの事前の承諾を得ることなく、本製品の改造、移設または他の機器への連動などを行った場合
- 故障の原因が本製品以外にある場合
- 純正部品以外の部品を使用した場合
- 天災、火災、不測の事故その他の不可抗力の場合

●保証は日本国内での使用に限り有効とします。

●保証期間は、納品後1年とします。

●本書等は株式会社イシダの重要な秘密情報が含まれます。事前の許可なく無断で複製・改変・配布・公衆送信その他不適切な利用や第三者への開示を行うことは厳重に禁じています。

●株式会社イシダは、本書等および本製品に関するノウハウを独占的に保有しています。
株式会社イシダは、本書等に定められた条件および範囲で、かつ、本製品を使用・維持する目的に限りノウハウを使用する譲渡不可・非独占的な使用権を承諾します。

●本書についてのご質問がある場合、またより詳しい情報が必要な場合は、銘板にある機種（型式）名、製造番号をお調べのうえ、購入先または株式会社イシダお客様窓口にお問い合わせいただき、回答を得るまでは作業を進めないでください。

●本製品は産業環境での使用を目的としており、一般家庭での使用には適していません。ご使用の際は、必ず適切な環境でお使いください。

お客様窓口

製品に同梱されています「全国イシダサービスネットワーク」をご覧ください。

製　造　元

株式会社 イ シ ダ

本　　社　〒 606-8392
京都市左京区聖護院山王町 44
電話：075-751-7104（直）

東京支社　〒 173-0004
東京都板橋区板橋 1 丁目 52 番 1 号
電話：03-3964-6204（直）

はかりに対する法規制について

IWR は特定計量器であり、取引証明に使用する際には都道府県の検定所等による検定または指定製造事業者による自主検査に合格したものを使用しなければなりません。はかりに貼り付けされた銘板の「検定証印等」欄に、次のいずれかの証印が表記されていることをご確認ください。
また、この証印の近くに、検定を行った年月が表記されていることを、併せてご確認ください。



検定証印



基準適合証印（※）

※基準適合証印：国から指定を受けた指定製造事業者が、自主検定の結果、合格品に付すもので、検定証印と同じ法的効果をもつもの。

お買い上げいただいたはかりを取引や証明行為に使用される間は、検定合格後、2 年に 1 度、都道府県等が行う定期検査を受けなければなりません。実施期日等に関する公示に基づいて、必ず定期検査を受けてください。
ご不明な点については、最寄りの計量検定所または製品に同梱されている「全国イシダサービスネットワーク」に記載のお客様窓口までお問い合わせください。

使用区域について

IWR は、特定計量器で、取引証明に使用することができます。
計量法により使用区域について制限があるため、購入時、使用区域をご確認のうえ、ご使用ください。
使用区域の違うはかりを使用すると、重力加速度の関係で計量誤差が生じます。

都道府県		重力加速度範囲 (m/s^2)	使用可能な管理番号
北海道地方	北海道	9.803 ～ 9.807	M2
	道北地方（宗谷、上川、留萌） 道東地方（網走、根室、釧路）十勝地方を除く	9.804 ～ 9.807	M2
	道央地方（石狩、後志、空知） 道南地方（檜山、胆振、日高、渡島） 十勝地方	9.803 ～ 9.806	M2
東北地方	青森県	9.802 ～ 9.804	M5
	岩手県	9.801 ～ 9.804	M5
	宮城県	9.800 ～ 9.802	M7
	秋田県	9.800 ～ 9.803	M5
	山形県	9.799 ～ 9.802	M7
	福島県	9.798 ～ 9.801	M7
関東・甲信越地方	茨城県、新潟県	9.798 ～ 9.801	M7
	栃木県	9.797 ～ 9.800	M9
	千葉県	9.797 ～ 9.799	M9
	神奈川県、山梨県	9.796 ～ 9.798	M10
	群馬県、埼玉県	9.796 ～ 9.799	M9
	長野県	9.795 ～ 9.798	M10
	東京都（八丈支庁、小笠原支庁を除く）	9.796 ～ 9.798	M10
	東京都（八丈支庁、小笠原支庁に限る）	9.794 ～ 9.796	M12
北陸地方	福井県	9.797 ～ 9.799	M9
	富山県、石川県	9.797 ～ 9.800	M9
東海・近畿地方	静岡県、岐阜県、愛知県、三重県、大阪府、和歌山県、奈良県、滋賀県	9.796 ～ 9.798	M10
	京都府、兵庫県	9.796 ～ 9.799	M10
中国地方	山口県、広島県	9.796 ～ 9.797	M10
	岡山県、鳥取県	9.796 ～ 9.798	M10
	島根県	9.796 ～ 9.799	M10
四国地方	香川県、愛媛県、徳島県、高知県	9.795 ～ 9.797	M10
九州地方	長崎県、福岡県、佐賀県	9.795 ～ 9.797	M12
	熊本県	9.794 ～ 9.796	M12
	宮崎県	9.794 ～ 9.795	M12
	大分県	9.794 ～ 9.797	M12
	鹿児島県（薩摩地方に限る）	9.794 ～ 9.796	M12
	鹿児島県（薩摩地方を除く）	9.791 ～ 9.794	M15
	沖縄県	9.789 ～ 9.792	M15

ソフトウェアに関する注意

本製品は、株式会社イシダが著作権を保有する、または第三者から株式会社イシダが許諾を受けた、プログラムまたはソフトウェア（以下、単に「ソフトウェア」といいます。）を使用しています。

以下の内容はこの「ソフトウェア」をご使用いただくお客様に、ご理解と使用上のご注意をお願いするものです。なお、「ソフトウェア」のうち、オープンソースプログラム、フリーソフトウェア、または株式会社イシダが第三者から許諾を受けたプログラムについては、以下の内容にかかわらず、それぞれが定める規約・ライセンス条件（以下、単に「第三者規約」といいます）によります。第三者規約と、以下の内容や株式会社イシダとお客様との契約その他の合意との間で矛盾・抵触が生じた場合は、第三者規約の記載が優先されるものとします。

「ソフトウェア」がインストールを必要とする場合はインストール実行時、それ以外の場合は、本製品の使用を開始した時点で以下の内容に同意したものとみなします。

この「ソフトウェア」についてはお客様に以下の事項についてご了承をお願いいたします。

1. お客様は、自らまたは第三者をして、株式会社イシダが書面により認めた場合を除き、「ソフトウェア」の複製、公衆送信もしくは移設（他の装置でのご使用）、本製品から「ソフトウェア」を分離して、「ソフトウェア」の譲渡もしくは貸与を行わないでください。
2. お客様は、自らまたは第三者をして、「ソフトウェア」の改変・翻案、もしくはリバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブル等、現状から変更する行為（以下「変更行為」といいます）を行わないでください。
   お客様の変更行為により、何らかの欠陥・故障等が生じたとしても、株式会社イシダおよび販売元などは一切の保証をいたしません。また、変更行為の結果、お客様に損害が生じたとしても株式会社イシダおよび販売元などは責任を負いません。
3. 「ソフトウェア」は株式会社イシダからお客様に使用を許諾しているもので、お客様へ権利を譲渡するものではなく、お客様は、第三者に使用権を譲渡し、または再使用許諾することはできません。
4. 株式会社イシダおよび販売元などは、「ソフトウェア」にエラー、バグ等の不具合がないこと、「ソフトウェア」が中断なく稼動すること、「ソフトウェア」がお客様の特定の目的に適合すること、または「ソフトウェア」の使用がお客様および第三者に損害を与えないことを保証するものではありません。
5. 「ソフトウェア」のご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、別途定めがない限り、株式会社イシダおよび販売元などに故意または重過失が認められる場合を除き、株式会社イシダおよび販売元などは責任を負いません。「ソフトウェア」に関し、請求の原因の如何にかかわらず、株式会社イシダまたは販売元などが賠償責任を負う場合の総額は、本製品の販売金額を上限とし、逸失利益、特別損害、拡大損害および間接損害（いずれも予見可能性の有無を問いません）についてはその賠償の対象から除外されるものとします。
6. お客様は、「ソフトウェア」を日本国外に持ち出される場合、自己の責任において、日本国内外の輸出管理に関連する法規を遵守するものとします。
7. お客様は、本注意事項の他、「ソフトウェア」についての取扱説明書の記載を遵守して本製品を使用してください。
8. お客様が、上記各内容をご了承いただけない場合、または上記各内容に違反した場合、株式会社イシダは「ソフトウェア」の使用を禁止できるものとし、本製品のご使用を中止していただく場合もございますのでご注意ください。

廃棄について

- 本製品を廃棄する場合は、地域の分別のルールに従って実施するか、株式会社イシダお客様窓口までご相談ください。
- 本製品の梱包材の廃棄は、地域の分別のルールに従って実施してください。
- 使用済みの電池は、自治体によって定められた方法で処分してください。

安全上のご注意

本製品を安全に取り扱っていただくために、守らなければいけない注意事項について説明します。

シグナルワードの種類と意味

本書に記載している警告用語は、危険度の高さや想定される事故の大きさによって、次の 3 段階に分類しています。以下の警告用語がもつ意味を理解し、本書または機械本体に貼り付けてある警告シールの指示に従ってください。

警告用語	意　　味
⚠ 危　険	回避しないと死亡または重傷を招く、差し迫った危険な状況の場合に使用しています。
⚠ 警　告	回避しないと死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況の場合に使用しています。
⚠ 注　意	回避しないと軽傷または中程度の障害を招くおそれがある危険な状況の場合、または機器・装置が損傷する場合に使用しています。 データの消去およびシステム異常が発生するおそれがある操作の場合に使用しています。

マーク	意　　味
注　記	特に注意を促したり、強調したい情報について使用しています。
	操作を行うときに参考になる情報について使用しています。
	操作を行うときに参照するページについて使用しています。

一般的な注意事項

本製品を安全に使用するために、守らなければいけない一般的な注意事項について説明します。

⚠ 警　告

濡れた手で、各スイッチやボタンに触れないでください。

感電するおそれがあります。

設置・据付時の注意事項

⚠ 警　告

以下は誤操作や計量ミスの原因になります。本体が落下するとけが、故障の原因にもなります。

・床や土台などが不安定な場所への設置は避けてください。
・風が直接当たる場所や振動の多い場所に設置しないでください。
・調整脚が設置台から浮いた状態での設置は避けてください。本体の調整脚は 4 点とも設置台に乗せてください。

本体周辺に商品を置かないでください。

・本体周辺は温かくなりますので、特に生ものや溶けやすいものは近くに置かないでください。

以下の場所には設置しないでください

・低温・高温・高湿の場所
・直射日光のあたる場所
・振動の多い場所
  - 床や土台などが不安定な場所
・風・冷気や熱風が直接あたる場所
  - クーラーや冷蔵庫などの冷気が直接あたる場所
  - エアコンやヒーターなどの熱風があたる場所
  - 扇風機などの風があたる場所
・チリ・ホコリなどの多い場所
・電圧変動の多い場所
  - テレビやラジオなどのノイズ発生源と同一コンセントを使用すると、性能に悪影響が出る場合があります。
・オゾン発生源 (オゾン殺菌装置など) 周辺
・通常とは異なる特殊環境下

電源について

■ IWR-X の場合 (IWR-B、IWR-G はオプション)

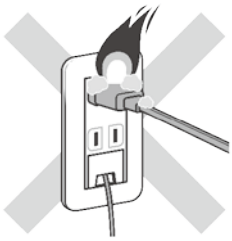
⚠ 警　告

電源は必ず AC100V をご使用ください。

・AC100V 以外の電源を使用すると火災の原因になります。定格は仕様銘板をご確認ください。

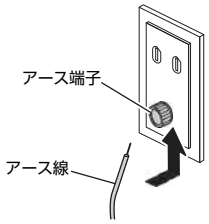
定期的にコンセント周辺のごみ、汚れを取り除いてください。

・ごみ、汚れがひどいと火災の原因になります。



感電防止のためアース線を必ず接地してください。

電源プラグをコンセントに挿す前に、付属のアース線をアース端子に接続し、確実に接地させてください。アース端子がない場合は、取付工事を依頼してください。
また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後で行ってください。



AC アダプタは必ず指定品をご使用ください。

・感電や故障の原因になります。
・IWR-B、IWR-G の AC アダプタはオプションです。

電源コードは必ず付属品をご使用ください。

・感電や故障の原因になります。

付属の電源コード以外は使用しないでください。
また付属の電源コードは本製品以外の機器に使用しないでください。

・火災の原因になります。

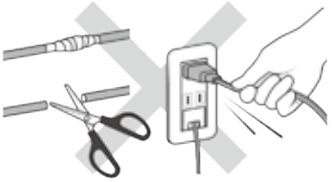
濡れた手でプラグを抜き挿ししないでください。

・感電やショートの原因になります。



AC アダプタ、電源プラグおよび電源コードは引っ張ったり、傷つけたり、加工しないでください。

・火災、感電、異常動作の原因になります。



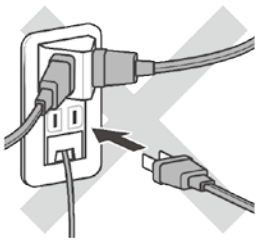
電源コードを踏みつけたり、重いものを載せたりしないでください。

・コードが傷み、そのまま使用を続けると事故やトラブルの原因になります。

⚠ 警　告

コンセントを他の機器と共用したり、タコ足配線をしたりしないでください。

・火災の原因になります。



長時間使用しないときや、移転や廃棄のために一時的に本製品を使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

・火災の原因になります。

■ IWR-B、IWR-G の場合

⚠ 警　告

電池について

・ごみ、汚れがひどいと火災の原因になります。
・使用できる電池は、アルカリ、マンガン電池です。
・電池の残量が少なくなると電池マークが点灯しますので、新しい電池に交換してください。
・電池ボックス内の表示に合わせて+とマイナスの向きを正しく入れてください。
　極性を間違えてセットすると、液漏れや破裂の原因になります。
・新しい電池と使用した電池、または種類の違う電池を混合して使用しないでください。
　液漏れや破裂の原因になります。
・液漏れした電池は使用しないでください。
・電池を火の中に入れたり、分解、加熱はしないでください。
・長時間電池を使用しない場合は、必ず電池を外してください。
・はかり本体裏面のジャックに AC アダプタが差し込まれているときは、電池で動作しません。
　電池で使用するときは、AC アダプタのプラグを抜いてください。
・AC アダプタはオプションです。

水平設置について

⚠ 注　意

本体は必ず振動のない場所に、水平に設置してお使いください。

水平で振動のない場所に設置しないと、正しい計量が行えません。また、本体が落下すると、けがや故障の原因になります。

内蔵の水平器の気泡が丸の中に入るように調整してください。

使用上の注意事項

⚠ 危　険

電池を加熱したり、分解したり、火や水の中に入れたりしないでください。

破裂・発火・発熱により、火災やけがの原因になります。

⚠ 警　告

■ 火災・感電のおそれ

内部に異物を入れないでください。計量器内部に金属物や燃えやすいものを落とさないでください。

内部に異物が入った場合や、異常時 (こげ臭いなど) は、速やかに電源コードの差込プラグをコンセントから抜き、販売元またはサービス拠点にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

■ 異物混入事故のおそれ

装置の内外に異物が残ると、重大な異物混入事故につながるおそれがあります。
本製品ご使用前の点検と清掃は毎回必ず実施してください。特に納品後や保守後は残留リスクが高まるため、より入念な確認を実施してください。

■ けがのおそれ

本製品の上に乗ったり、被計量物以外の物を載せたりしないでください。

けがや故障の原因になります。

分解したり、改造したりしないでください。誤った分解をすると、故障の原因になります。

本製品を改造したり、指定外の部品を取り付けたり、取り外したりされた場合は、重大な事故やけがの原因にもなります。その後の品質は保証いたしかねます。

本製品を置き場所の縁の近くに設置しないでください。

下向きの力を加えると転倒の恐れがあるため、縁から離れた位置に設置してください。

本製品は、子供の使用を想定していません。

子供のいる環境での使用は、十分に注意してください。

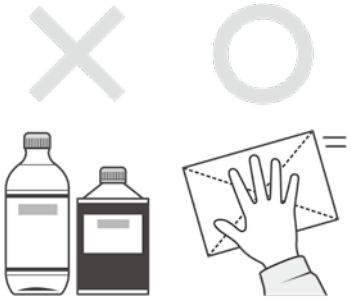
⚠注　意

計量皿に物を載せたまま放置しないでください。
故障や精度低下の原因になります。

精密機器のため、衝撃を与えないでください。
破損や計量精度低下の原因になります

本製品には強い力を加えないでください。
変形や故障の原因になります。

本体のお手入れには、水を含ませた柔らかい布で外面を拭き取ってから、から拭きをするか、中性洗剤をご使用ください。
シンナーなどを使用すると変色するおそれがあり、変形や故障の原因になるため、絶対に使用しないでください。また、本体には直接水や洗剤をかけないでください。

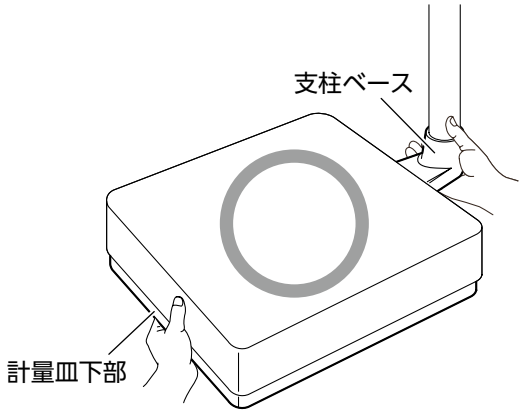


機器周辺を殺菌・漂白される場合は、薬剤が本体に直接かからないようにご使用ください。
また、機器故障等の原因になる場合があるため、メーカー指定の濃度に薄めてご使用ください。

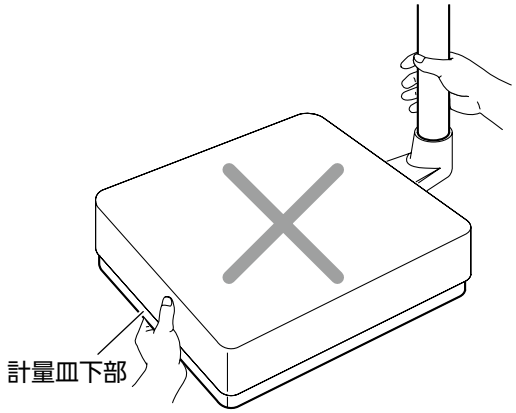
次亜塩素酸を使って清掃する場所では、清掃の際に本体にカバーをかけるなど次亜塩素酸の影響を受けないようにしてください。
次亜塩素酸を含む殺菌剤を使用する際には、殺菌剤メーカーの使用用途、希釈濃度を厳守してください。
次亜塩素酸は、錆や劣化の原因となります。

本製品を運ぶときは、支柱ベース下部、計量皿下部を下から持ち上げて運んでください。
支柱など、上記以外の箇所を持って運ぶと、破損や故障の原因になります。
下図は「持ちかた」の参考図です。計量皿、支柱などの形状は、仕様により異なります。

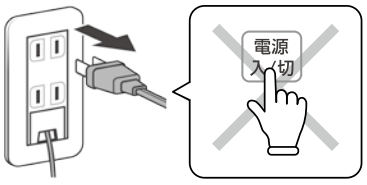
■正しい持ちかた



■誤った持ちかた



本製品の電源を入にしたまま、電源プラグをコンセントから抜き挿ししないでください。
故障の原因になります。



目次

はじめに II
おねがい II
本書の表記について III
操作説明欄の構成 III

重要なお知らせ IV
はかりに対する法規制について V
使用区域について VI
ソフトウェアに関する注意 VII
廃棄について VII

安全上のご注意 VIII
シグナルワードの種類と意味 VIII
一般的な注意事項 VIII
設置・据付時の注意事項 IX
電源について X
水平設置について XI
使用上の注意事項 XII

目次 XIV

1. 各部の名称とはたらき 1
本体外観 1
付属品 1
各ボタンのはたらき 2
液晶表示部の表示内容 3

2. 計量器の準備 4
支柱の取付と設置 4
表示部の角度調整 5
水平調整 6
電池の取り付け（乾電池駆動の場合） 6

3. 電圧チェックモード (IWR-B、IWR-G のみ) 7

4. 計量 8

5. 置数風袋引き操作 9

6. 風袋量確認 10

7. プリセット機能 11
プリセットの設定 11
プリセットの呼出 13

8. 設定モード 14
設定方法 14

設定値一覧表 15
日付設定方法 17

9. RS-232C 入出力コマンドフォーマット 18
RS-232C 接続ケーブル（オプション） 18
DIN5P-DSUB9P 18
DIN5P-DSUB25P 18
入力コマンド（受信データ） 19
テキストレイアウト 1（機能実行コマンド時） 19
テキストレイアウト 2（データ出力要求コマンド時） 20
出力フォーマット 21
プリンタ専用フォーマット 21
MZ-7000 フォーマット 21
IWQ2 フォーマット 21
DAP-01 フォーマット 21
伝送仕様 22

10. ジャーナルプリンタ印字イメージ 23

11. 日常のお手入れ・清掃方法 24
日常のお手入れ 24
清掃方法 24

12. 困ったときに 25

13. 付録 26

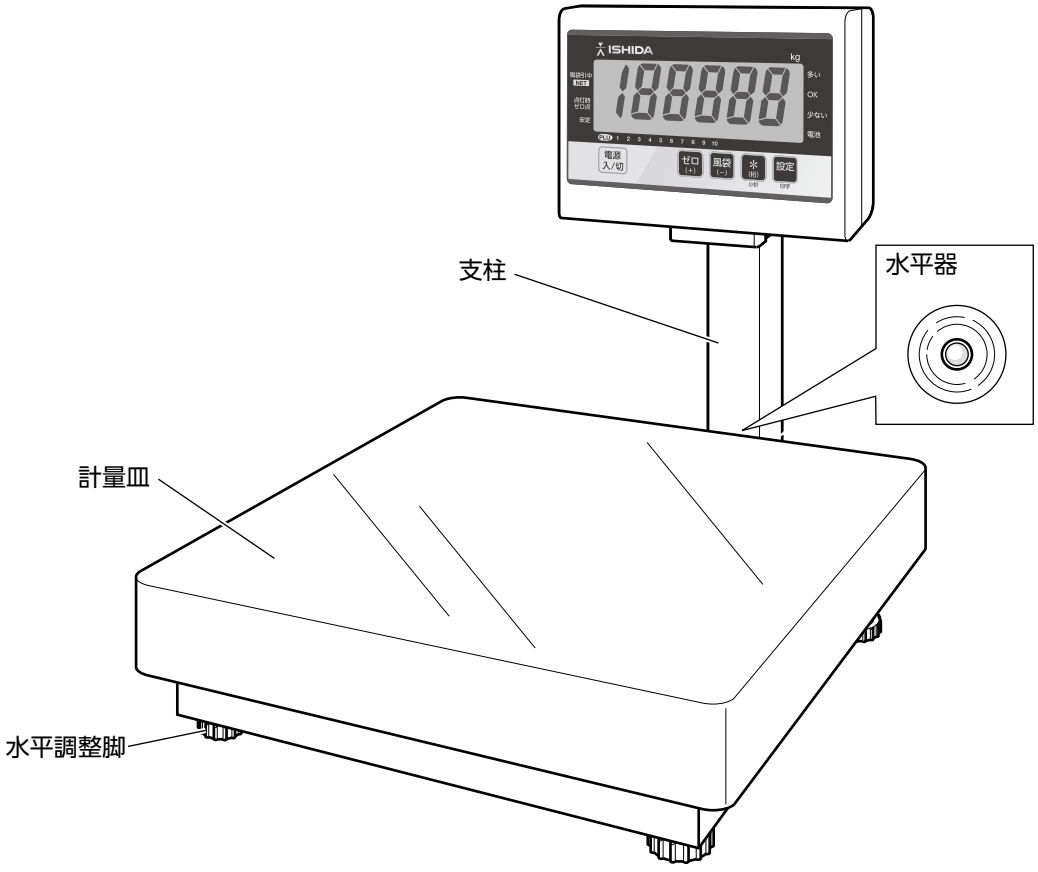
14. 標準仕様 27

メモ

1. 各部の名称とはたらき

本書は下記の名称を使って説明しますので、ここで各部の名称を確認し、以降のページを読んでください。

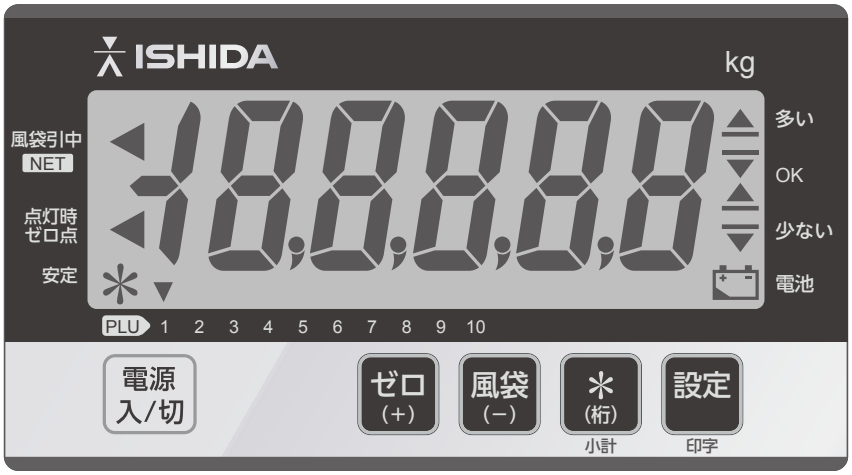
本体外観



付属品

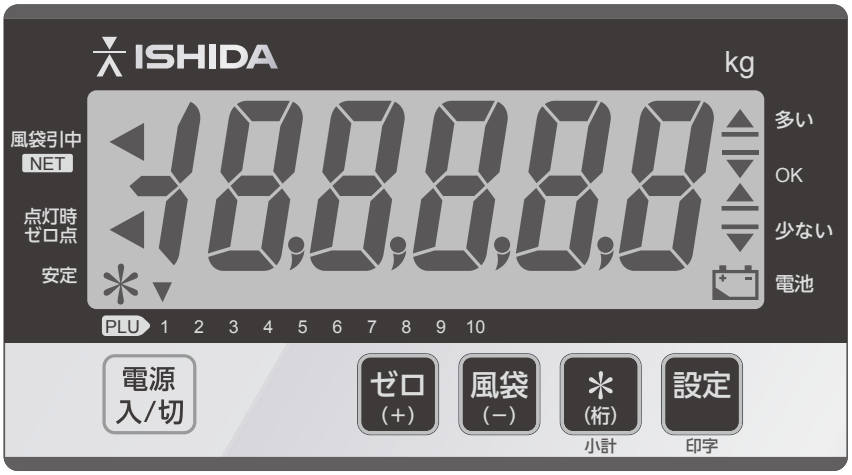
○ 取扱説明書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・1 冊
○ サービスネットワーク一覧 ・・・・・・・・・1 枚
○ 保証書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1 枚
○ マンガン電池 (IWR-B、IWR-G のみ) ・・・・2 本

各ボタンのはたらき



操作ボタン	機能
電源　入/切	はかりの表示部機能の 入/切 をします。
ゼロ（+）	①風袋情報をクリアしてゼロ点を補正し、重さ表示を「0」にします。 ②登録、設定時に数値をプラス方向へ切り替えるときに使用します。
風袋（−）	①風袋重量を設定するときに使用します。 ②登録、設定時に数値をマイナス方向へ切り替えるときに使用します。
＊（桁）	①風袋量の確認表示を行います。 ②プリンタ接続時、小計印字を行います。（2秒間長押し） ③登録、設定時に点滅表示の桁を移動するときに使用します。
設定	①プリンタ接続時、重量印字を行います。 ②プリセットで現在呼び出されているデータの確認表示を行います。 ③登録している風袋量と上・下限値を呼び出します。

液晶表示部の表示内容



表示	内容
◀	“点灯時ゼロ点（パネル印字）”、“風袋引中（パネル印字）”の右側にはかりの状態に応じて表示されます。
✳	はかりが安定状態のときに点灯します。
▼	プリセット機能を使用する際に表示します。 設定内容によりPLU1～10の該当箇所が点灯します。
•	小数点
▲	計量状態が、“重さ＞上限値”のときに点灯表示します。
▼ ▲	計量状態が、“下限値≦重さ≦上限値”のときに点灯表示します。
▼	計量状態が、“重さ＜下限値”のときに点灯表示します。
	電池残量が低下し、交換時期になると点灯します。 (IWR-B、IWR-Gのみ)
▬	風袋引きをする際に、マイナス記号として表示します。

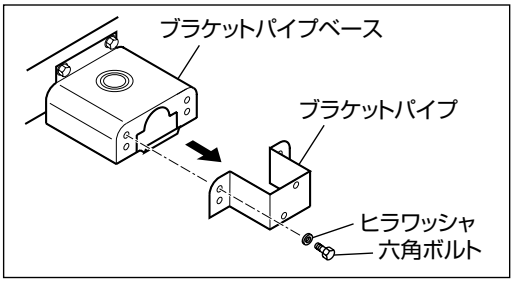
2. 計量器の準備

ここでは、作業を行う前の計量器の準備について説明します。

支柱の取付と設置

表示部と支柱は、表示部固定ノブで取り付けられていますが、支柱と計量部のブラケットパイプベースは分離されています。

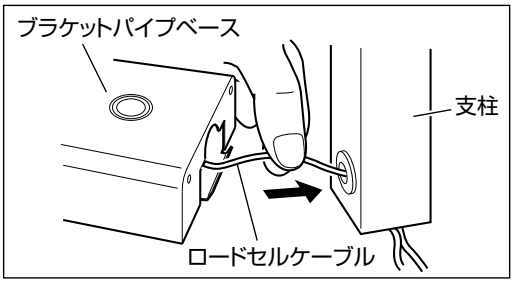
1. ブラケットパイプを取り外します。
ブラケットパイプベースに取り付けられているブラケットパイプ（六角ボルト：4本）を取り外します。



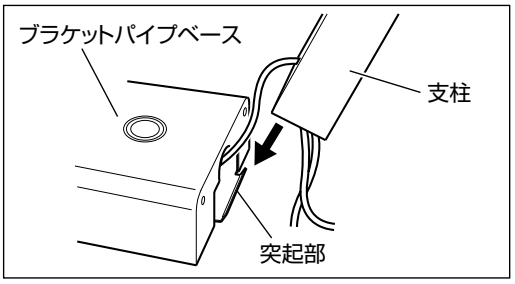
注　記

収納する際、ロードセルケーブルを無理に引っ張らないでください。断線するおそれがあります。
また、被覆に傷を付けると浸水により重量のふらつきや内部腐食により故障するおそれがあります。

2. ロードセルケーブルを支柱内に収納します。
ブラケットパイプベースから出ている余分なロードセルケーブルを支柱内に押し入れます。



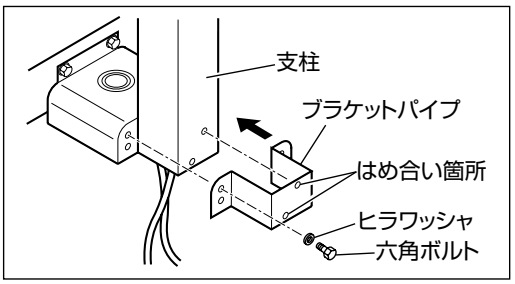
3. ブラケットパイプベースに支柱を立て掛けます。
ブラケットパイプベースの突起部に支柱のロードセルケーブル側を差し込む要領で立て掛けます。



注　記

ブラケットパイプはRの大きい方を上にして取り付けてください。(IWR-6000Gを除く)
また、支柱にぐらつきがないようにしっかり固定してください。

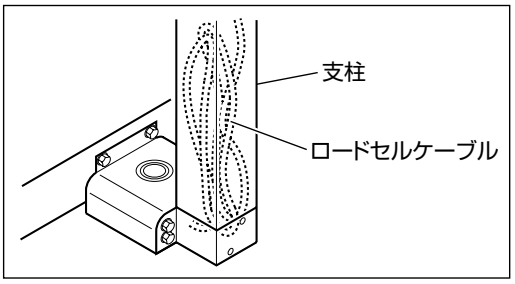
4. 支柱をブラケットパイプで固定します。
支柱をブラケットパイプ（ヒラワッシャ・六角ボルト：4箇所）ではめ合い箇所が合致していることを確認して固定します。



注　記

ロードセルケーブルは支柱の下端より15mm以上奥になるように収納してください。

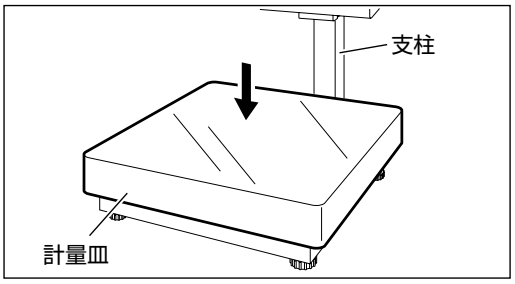
5. ロードセルケーブルを支柱内に収納します。
支柱から出ている余分なロードセルケーブルを折り曲げ、支柱内に押し入れます。



注　記

計量皿に何も載っていないことを確認してください。

6. 計量皿を取り付けます。



注　記

表示部の表示がすべて「0」になっていることを確認してください。

7. 電源スイッチを入にします。

計量皿に何も載っていない状態で「電源入/切」ボタンを押してください。

電源
入/切

表示部が点灯します。



8. ゼロ点を調整します。

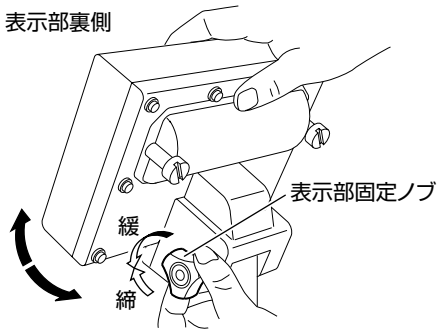
ゼロ点（◀マーク）が表示されていない場合は「ゼロ（＋）」ボタンを押してください。

ゼロ
(+)



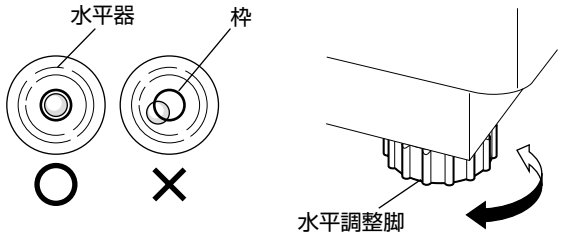
表示部の角度調整

表示部固定ノブをゆるめて表示部を見やすい角度に調節し、表示部固定ノブを締めます。



水平調整

計量器を安定した床面、または台に設置し、水平器の気泡が枠の中心に入るように、水平調節脚を回して調節してください。



電池の取り付け（乾電池駆動の場合）

ここでは、乾電池駆動の場合の電池の取り付け／交換方法について説明します。
以下の手順に沿って電池を取り付けてください。

⚠注　意

電池の取り付け方向に注意してください。
また、種類の違う電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。

注　記

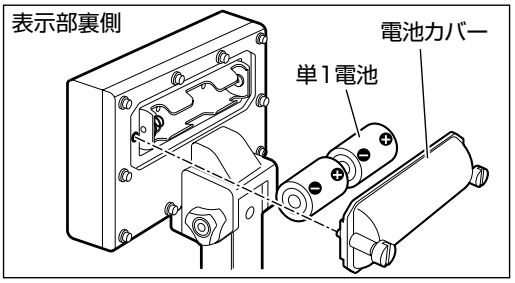
電池収納部周辺に水滴などが付着している場合は、乾いた布で拭き取ってください。

注　記

電池カバーを取り付ける際、固定ネジを指で締めた後、必ずコインまたはマイナスドライバーで1～1.5 回転増し締めしてください。

1. 電池カバーを取り外します。
表示部裏側の電池カバー固定ネジを緩め、電池カバーを取り外します。

2. 電池を取り付け、または交換します。
単1電池2本を＋－の向きに注意して正しく入れ、電池カバーを取り付けます。

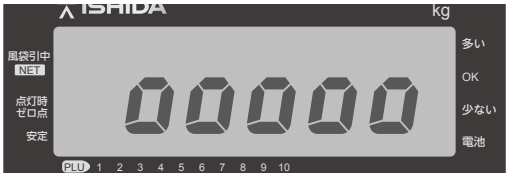
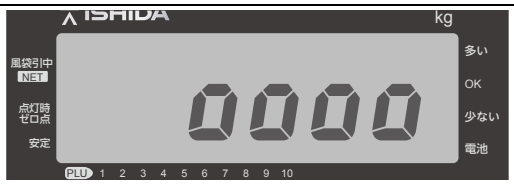
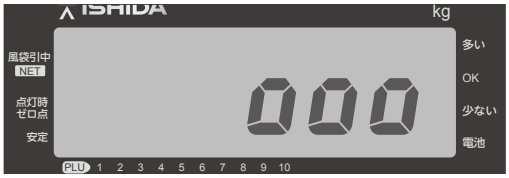
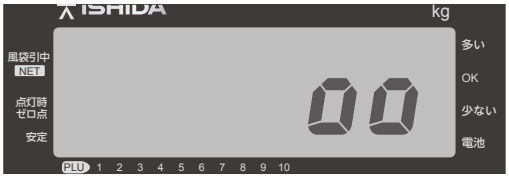
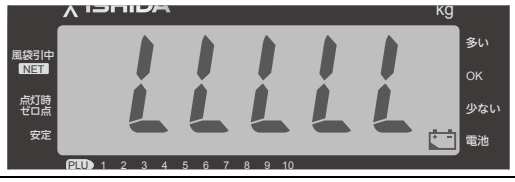


3. 電圧チェックモード (IWR-B、IWR-G のみ)

1. 電源が OFF の状態で「入/切」ボタンを押して、すぐに「風袋（−）」ボタンを押してください。



電圧チェック画面が表示され、電池残量をモニターすることができます。

表示	電圧（参考値）
	2.8V以上
	2.6～2.8V
	2.4～2.6V
	2.2～2.4V
	2.0～2.2V
	2.0V未満（電池交換時期）

注　記

使用中に電池交換時期になった場合は、電池交換マークが点灯し、すべての数字表示部が点滅します。

2. 他のいずれかのボタンを押すと、電圧チェック画面が閉じます。

4. 計量

注　記

表示部の表示がすべて「0」になっていることを確認してください。

1. 電源スイッチを入にします。

計量皿に何も載っていない状態で「電源 入/切」ボタンを押してください。

電源 入/切

表示部が点灯します。



注　記

風袋引きは次の方法でも設定できます。

・置数風袋設定モードで設定します。（「5. 置数風袋引き」参照）

・設定してあるプリセットを呼出します。（「7. プリセット機能」参照）

2. 風袋引きをします。

風袋容器を計量皿に載せ、「風袋（−）」ボタンを押してください。

風袋 (−)



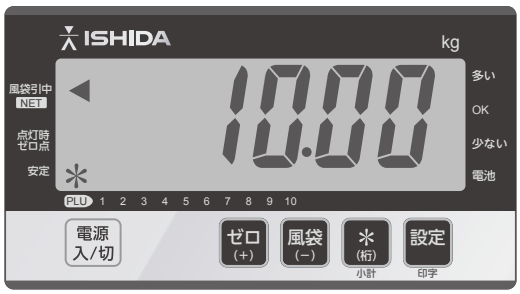
注　記

風袋が設定されているとき、「ゼロ（+）」ボタンでゼロ点補正を行うと風袋がクリアされます。

3. 商品を計量します。

計量物を風袋容器ごと計量皿に載せてください。

・お米10 kg の場合



※上下限値を設定している場合は以下の表示をします。

計量結果	計量状態	装置状態
多い	重さ＞上限値	多いカーソル（▲）表示
OK	下限値≦重さ≦上限値	OK カーソル（⧗）表示
少ない	重さ＜下限値	少ないカーソル（▼）表示

5. 置数風袋引き操作

参考

計量範囲は、ひょう量から風袋重量を引いた値となるため、風袋引きをすると計量範囲が狭くなります。

1. 置数風袋設定モードに切替えます。

はかりに何も載っていない状態で安定していることを確認して「風袋（−）」ボタンを2秒間押してください。

風袋（−）



2. 風袋を設定します。

「＊（桁）」ボタンを押して点滅桁を移動し「ゼロ（＋）」ボタンまたは「風袋（−）」ボタンを押して風袋量を置数してください。

・風袋 0.8 kg の場合

＊（桁）×3　風袋（−）×2



3. 「設定」ボタンを押します。

設定

風袋がセットされます。



6. 風袋量確認

1. 計量中に風袋量を確認します。
「＊（桁）」ボタンを押すと、設定されている風袋量の確認ができます。

・風袋 0.08kg の場合



7. プリセット機能

本機は、プリセット No.1 ～ No.10 までの最大 10 個のプリセットの設定・呼出が可能です。

プリセットの設定

注　記

表示がすべて点灯している間に「設定」ボタンを押してください。

1. 電源が OFF の状態で「入/切」ボタンを押して、すぐに「設定」ボタンを押してください。

電源 入/切　設定

プリセットNo.1が表示されます。



注　記

プリセットNo.は、「ゼロ（+）」ボタンを押すと順送りされ、「風袋（−）」ボタンを押すと逆送りされます。

2. 設定するプリセット No.を選択します。

「ゼロ（+）」ボタンまたは「風袋（−）」ボタンを押して、プリセットNo. を選択します。

ゼロ (+)　風袋 (−)

「設定」ボタンを押してください。

設定

選択したプリセット No.の風袋が表示されます。

3. 風袋を設定します。

「＊（桁）」ボタンを押して点滅桁を移動し、「ゼロ（+）」ボタンまたは「風袋（−）」ボタンを押して風袋を置数してください。

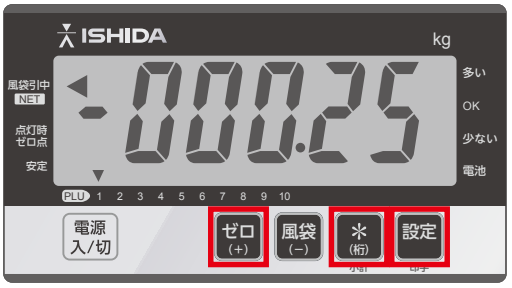
・風袋 0.25kg の場合

＊ (桁) ×3　ゼロ (+) ×2

＊ (桁)　ゼロ (+) ×5

「設定」ボタンを押してください。

設定



注　記

点滅桁は、風袋設定で「設定」ボタンを押した時点の位置で表示されます。

4. 上限値を設定します。

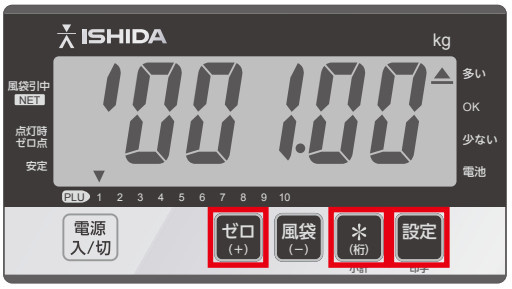
「＊（桁）」ボタンを押して点滅桁を移動し、「ゼロ（+）」ボタンまたは「風袋（−）」ボタンを押して上限値を置数してください。

・上限値 1kg の場合

＊ (桁) ×3　ゼロ (+) ×1

「設定」ボタンを押してください。

設定



注　記

既に上限値が設定されている場合、上限値以下の値のみ設定できます。
なお、上限値の設定が“0”の場合は下限値のみの設定ができます。
点滅桁は、上限値の設定で「設定」ボタンを押した時点の位置で表示されます。

5. 下限値を設定します。

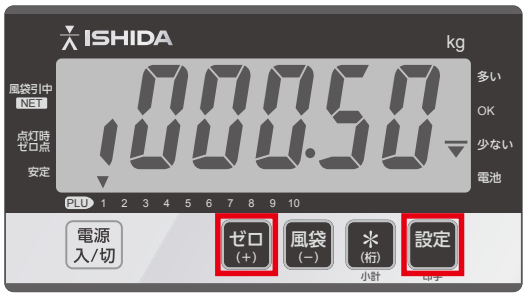
「＊（桁）」ボタンを押して点滅桁を移動し、「ゼロ（＋）」ボタンまたは「風袋（−）」ボタンを押して下限値を置数してください。

・下限値0.5kgの場合

＊（桁）　ゼロ（＋）　×5

「設定」ボタンを押してください。

設定



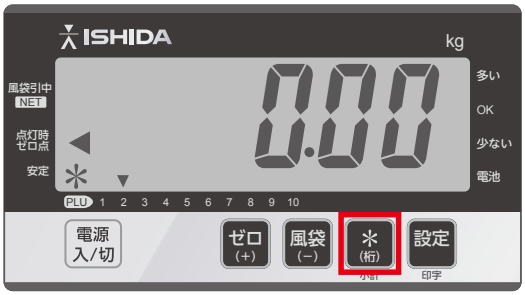
6. 異なるプリセットNo.を設定します。

手順3に戻ります。

7. 設定を終了します。

「＊（桁）」ボタンを押してください。

＊（桁）



プリセットの呼出

1. 「設定」ボタンを2秒間押します。

設定

プリセットNo.1が表示されます。



注　記

プリセットNo.は、「ゼロ（+）」ボタンを押すと順送りされ、「風袋（−）」ボタンを押すと逆送りされます。

2. プリセットNo. を選択します。

「ゼロ（+）」ボタンまたは「風袋（−）」ボタンを押して呼び出すプリセットNo.を選択します。

・プリセットNo. 2の場合

ゼロ
(+)



注　記

風袋量が設定されていない場合、または上限値と下限値が共に設定されていない場合は、呼出前の値がそのまま残ります。

3. 「設定」ボタンを押します。

設定

風袋と上、下限値が順に表示されます。

(例)風袋　　0.25 kg
　上限値　　1.00 kg
　下限値　　0.50 kg



8. 設定モード

設定方法

注　記

表示がすべて点灯している間に「＊（桁）」ボタンを押してください。

1. 電源が OFF の状態で「入/切」ボタンを押して、すぐに「＊（桁）」ボタンを押してください。

電源 入/切　＊ (桁)

設定 No.1の設定値 No.が表示されます。



2. 設定値を変更します。

「ゼロ（+）」ボタンまたは「風袋（−）」ボタンを押して設定値 No. を変更してください。

・入/切 ボタン無効に設定する場合

ゼロ (+)



3. 異なる設定No.を変更します。

「設定」ボタンを押して設定No. を選択します。

・オートパワーOFF 時間の設定の場合

設定 ×16

オートパワーOFF時間の設定No.17 に、現在設定されている設定値No. が表示されます。

手順 2. に戻ります。



4. 設定を終了します。

「＊（桁）」ボタンを押してください。

＊ (桁)



設定 No. の設定内容と設定値 No. の設定状態については、設定値一覧表をご覧ください。

設定値一覧表

設定 No.	設定内容	設定値 No.	設定状態
F01	機能なし(IWR-B、IWR-Gの場合)		
	ボタン選択機能 (IWR-Xの場合)	00	全ボタン有効
		01	電源 入/切 ボタン無効 (電源 入 時常時はかり動作状態
F02	プリセット 自動呼出機能	00	設定なし
		01	電源入時プリセットNo.1を自動的に呼出す
F03	桁数切替 （プリンタ）	00	16桁プリンタ用
		01	20～24 桁プリンタ用
F04	日付印字 （プリンタ）	00	なし
		01	あり
F05	プリセットNo. 印字 （プリンタ）	00	なし
		01	あり
F06	上下限印字 （プリンタ）	00	なし
		01	あり
F07	シリアルNo. 印字 （プリンタ）	00	なし（小計印字機能なし）
		01	あり
F08	連票／単票仕様 （プリンタ）	00	単票印字（印字後6行改行、毎回ヘッダー印字）
		01	連票印字（印字後改行なし）
F09	ボーレート （RS232C）	00	1200bps
		01	2400bps
		02	4800bps
		03	9600bps
		04	19200bps (出力のみサポート)
		05	38400bps (出力のみサポート)
F10	シリアル出力電文仕様 （RS232C）	00	プリンタ専用フォーマット
		01	使用不可
		02	使用不可
		03	MZ−7000フォーマット
		04	IWQ2フォーマット（MZ-7000拡張型）
		05	使用不可
		06	DAP-01フォーマット
F11	シリアル出力方式 （RS232C）	00	出力なし
		01	垂れ流し（A/D 変換と同期）
		02	出力条件時<F12>
		03	データ要求入力時（RS 入力）
F12	シリアル出力条件 （RS232C）	00	自動／範囲内／再安定出力（印字）
		01	手動／範囲内／再安定出力（印字）
		02	自動／範囲内外／再安定出力（印字）
		03	手動／範囲内外／再安定出力（印字）
		04	自動／範囲内／ゼロ復帰出力（印字）
		05	手動／範囲内／ゼロ復帰出力（印字）
		06	自動／範囲内外／ゼロ復帰出力（印字）
		07	手動／範囲内外／ゼロ復帰出力（印字）

注　記

ジャーナルプリンタ（別売）を接続してプリンタ出力を行うには、ACアダプタ（別売）が必要です。
(IWR-B、IWR-Gの場合)

注　記

シリアルケーブル（別売）を接続してシリアル出力を行うには、ACアダプタ（別売）が必要です。
(IWR-B、IWR-Gの場合)

※上表の網掛け部は、工場出荷時の設定を示します。

注　記

IWR-B、IWR-Gは、接点BOXを接続することはできません。

注　記

IWRは、ブザーを内蔵していません。
また、大音量ブザー（別売）を接続してブザー出力を行うには、ACアダプタ（別売）が必要です。

設定 No.	設定内容	設定値 No.	設定状態
F13	接点出力信号設定（接点 BOX）	機能なし(IWR-B、IWR-Gの場合)	
	接点出力信号設定（接点 BOX）(IWR-Xの場合)	00	①安定 ②ゼロ点マーク ③“OK” ④“多い”
		01	①安定 ②ゼロ表示 ③“OK” ④“多い”
		02	①安定 ②ゼロ表示 ③“OK” ④範囲外
		03	①安定 ②“少ない” ③“OK” ④“多い”
		04	①風袋 ②“少ない” ③“OK” ④“多い”
F14	接点入力信号設定（接点 BOX）	機能なし(IWR-B、IWR-Gの場合)	
	接点入力信号設定（接点 BOX）(IWR-Xの場合)	00	電源 入/切ボタン
		01	風ボタン
		02	ゼロボタン
F15	大音量ブザー	00	ブザー出力条件時ブザーON（常時OFF）
		01	“多い”条件時にブザーON（常時OFF）
		02	“OK”条件時にブザーON（常時OFF）
		03	“少ない”条件時にブザーON（常時OFF）
		04	はかり安定時にブザーON（常時OFF）
		05	“多い”条件ではかり安定時にブザーON（常時OFF）
		06	“OK”条件ではかり安定時にブザーON（常時 OFF）
		07	範囲外ではかり安定時にブザーON（常時OFF）
		08	ブザー出力条件時ブザーOFF（常時ON）
		09	“多い”条件時にブザーOFF（常時ON）
		10	“OK”条件時にブザーOFF（常時ON）
		11	“少ない”条件時にブザーOFF（常時ON）
		12	はかり安定時にブザーOFF（常時ON）
		13	“多い”条件ではかり安定時にブザーOFF（常時ON）
		14	“OK”条件ではかり安定時にブザーOFF（常時ON）
		15	範囲外ではかり安定時にブザーOFF（常時ON）
F16	ブザー出力条件	00	範囲外で安定時
		01	“OK”条件で安定時
		02	“多い”条件で安定時
		03	ボタン入力も含めブザーは鳴らない（初期設定: IWR-B、IWR-G）
		04	ボタン入力・はかり安定時に鳴る
		05	ボタン入力音のみ鳴る
		06	上下限判別機能（安定／不安定時）（初期設定: IWR-X）
F17	オートパワーOFF時間設定	00	設定なし(初期設定: IWR-X)
		01	10分
		02	20分
		03	30分
		04	40分
		05	50分
		06	60分(初期設定: IWR-B、IWR-G)

※上表の網掛け部は、工場出荷時の設定を示します。

日付設定方法

日付設定はプリンタ（別売）連動時に日付として印字されます。日付の設定を行う前に、下記の設定値を登録してください。設定値の登録方法については、「8. 設定モード」の設定方法を参照してください。

設定 No.	設定内容	設定値 No.	設定状態
F04	日付印字	01	あり
F10	シリアル出力電文仕様	00	プリンタ専用フォーマット
F11	シリアル出力方式	02	出力条件時

注　記

「＊（桁）」ボタンを押すことで“P1”→“P2”→“P3”→“P1”と繰り返し表示されます。

1. 電源を入にします。

計量皿に何も載っていない状態で
「電源 入/切」ボタンを押してください。

[電源 入/切]

表示部に年数が表示され、P1は年、P2は月、P3は日を意味します。

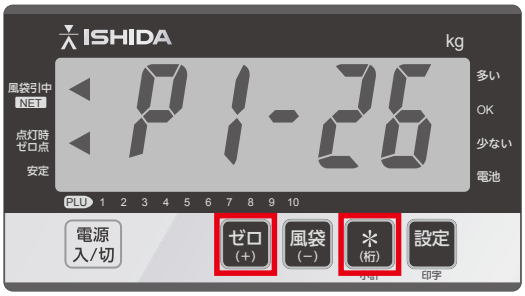


2. P1（年）を設定します。

・2026年に設定する場合

[＊ (桁)] ×1 [ゼロ (+)] ×26

“P1-26”と表示されていることを確認し、「＊（桁）」ボタンを押してください。

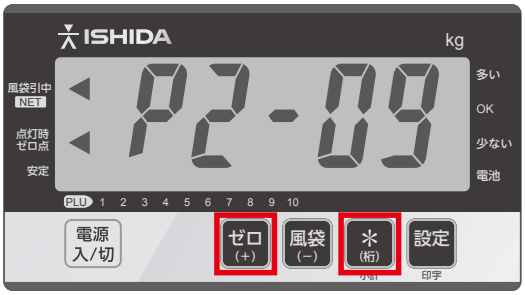


3. P2（月）を設定します。

・9月に設定する場合

[＊ (桁)] ×1 [ゼロ (+)] ×9

“P2-09”と表示されていることを確認し、「＊（桁）」ボタンを押してください。



注　記

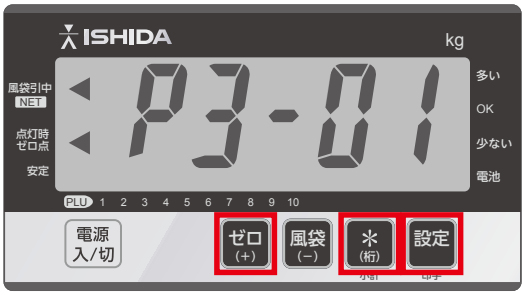
設定した日付は、表示部機能をOFFにすると消去されます。

4. P3（日）を設定します。

・1日に設定する場合

[＊ (桁)] ×1 [ゼロ (+)] ×1 [設定]

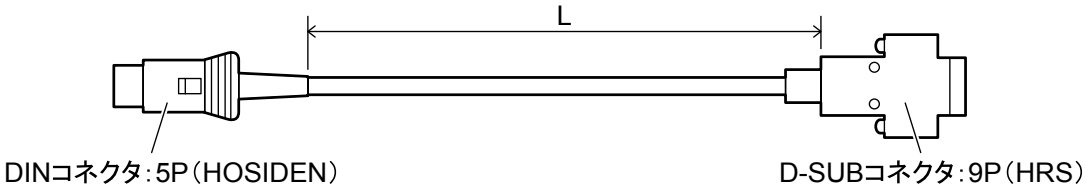
“P3-01”と表示されていることを確認し、「設定」ボタンを押してください。



9. RS-232C 入出力コマンドフォーマット

RS-232C 接続ケーブル（オプション）

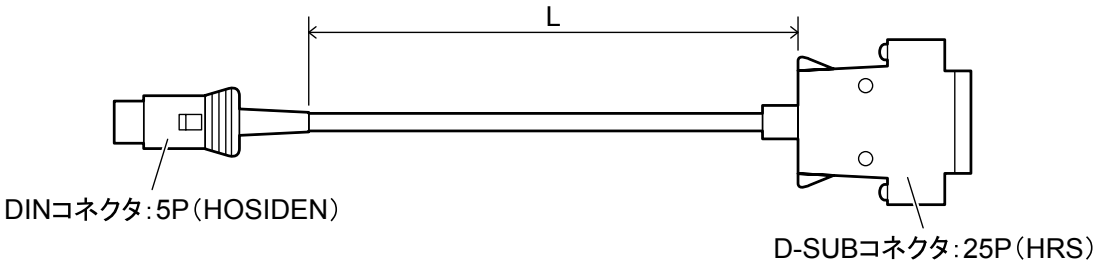
DIN5P-DSUB9P



・ハーネス：“C2”RS-232C
・L：3000mm

DIN-5P PIN No.	信号名	線色	D-SUB 9P PIN No.
1	−	−	−
2	DTR	シロ	6
3	RXD	アカ	3
4	TXD	ミドリ	2
5	SG	クロ	5
−	RTS／CTS	オレンジ	7(7・8ジャンパ)
−	RTS／CTS	オレンジ	8(7・8ジャンパ)
−	シールド線	シールド線	シェルに接続

DIN5P-DSUB25P



・ハーネス：“C2”RS-232C
・L：3000mm

DIN-5P PIN No.	信号名	線色	D-SUB 25P PIN No.
1	−	−	−
2	DTR	シロ	6
3	RXD	アカ	2
4	TXD	ミドリ	3
5	SG	クロ	7
−	RTS／CTS	オレンジ	4(4・5ジャンパ)
−	RTS／CTS	オレンジ	5(4・5ジャンパ)
−	シールド線	シールド線	シェルに接続

入力コマンド（受信データ）

テキストレイアウト１（機能実行コマンド時）

■受信テキスト

○風袋引き指令

機能：実量風袋引きを行う

	コマンド		ターミネータ	
キャラクタ	T	[SP]	CR	LF
コード	(54H)	(20H)	(0DH)	(0AH)

○ゼロ調整指令

機能：ゼロ調整を行う

	コマンド		ターミネータ	
キャラクタ	Z	[SP]	CR	LF
コード	(5AH)	(20H)	(0DH)	(0AH)

○プリセット呼出要求指令

機能：プリセット呼び出しを行う

	コマンド		ターミネータ	
キャラクタ	P	No.	CR	LF
コード	(50H)	※	(0DH)	(0AH)

※プリセットNo.0～9（30H～39H）およびNo.10（“：”／3AH）が入る。
【国内仕様ではNo.0～10まで】

■応答テキスト

○肯定応答

条件：　　1秒以内に正常実行した場合

タイミング：コマンド実行終了後

	コマンド
キャラクタ	ACK
コード	(06H)

○否定応答

条件：　　コマンド動作範囲外の場合
1秒以内に実行できない場合
無効テキスト受信時
無効コマンド受信期

タイミング：無効テキスト／コマンド受信後
コマンド動作範囲外判定時
コマンド受信開始から1秒後

	コマンド
キャラクタ	NAK
コード	(15H)

テキストレイアウト 2（データ出力要求コマンド時）

■受信テキスト

○はかりデータ要求 1

機能：受信後、即一回出力する

	コマンド		ターミネータ	
キャラクタ	O	8	CR	LF
コード	(4FH)	(38H)	(0DH)	(0AH)

○はかりデータ要求 2

機能：受信後、送信条件適合時、一回出力する

	コマンド		ターミネータ	
キャラクタ	O	9	CR	LF
コード	(4FH)	(39H)	(0DH)	(0AH)

■応答テキスト

○肯定応答(データ出力)

条件：　1秒以内に正常実行した場合(08コマンド時)
　　データ出力条件一致時(09コマンド時)

タイミング：コマンド実行終了後

設定された出力電文

○否定応答

条件：　はかり動作範囲外の場合
　　1秒以内に実行できない場合(08コマンド時)
　　無効テキスト受信時
　　無効コマンド受信期

タイミング：無効テキスト／コマンド受信後
　　はかり動作範囲外判定時
　　コマンド受信開始から1秒後

	コマンド
キャラクタ	NAK
コード	(15H)

出力フォーマット

プリンタ専用フォーマット

DAP-IW を接続する場合は、「F10 : シリアル出力電文仕様 (RS232C)」の設定値 No. を“00”にします。

MZ-7000 フォーマット

キャラクタ	STX	プリセット番号	秤状態	極性	上限値	指数	重量値	指数	下限値	指数	ETX	
バイト数	1	4	1	1	6	2	6	2	6	2	1	32バイト

極性：30H：重量の値がプラス／31H：重量の値がマイナス

秤状態：30H：重量の値が安定／31H：重量の値が不安定／32H：重量値がオーバースケールまたはエラー

指数：小数点の位置を表す
重量値が123456の場合
01:12345.6
02:1234.56
⋮
05:1.23456

STX=02H
ETX=03H

IWQ2 フォーマット

キャラクタ	STX	プリセット番号	秤状態	極性	上限値	指数	重量値	指数	下限値	指数	風袋量	指数	ETX	
バイト数	1	4	1	1	6	2	6	2	6	2	6	2	1	40バイト

極性：30H：重量の値がプラス／31H：重量の値がマイナス

秤状態：30H：重量の値が安定／31H：重量の値が不安定／32H：重量値がオーバースケールまたはエラー

指数：小数点の位置を表す
重量値が123456の場合
01:12345.6
02:1234.56
⋮
05:1.23456

風袋量：絶対値で出力（マイナス符号なし）

STX=02H
ETX=03H

DAP-01 フォーマット

キャラクタ	極性	重量値	単位	過適不	秤状態	CR	LF	
バイト数	1	7	2	1	1	1	1	14バイト

極性：＋（2BH）：重量値がプラス／－（2DH）：重量値がマイナス

重量値：浮動小数点で出力［小数点は“.”固定］

単位：kg（6BH, 67H）：kg／g（20H, 67H）：g／ps（70H, 73H）：pcs

過適不：H（48H）：重量値上限越え／G（47H）：重量値範囲内／L（4CH）：重量値下限未満／SP（20H）：それ以外

秤状態：S（53H）：重量の値が安定／U（55H）：重量の値が不安定／E（45H）：重量値がオーバースケールまたはエラー

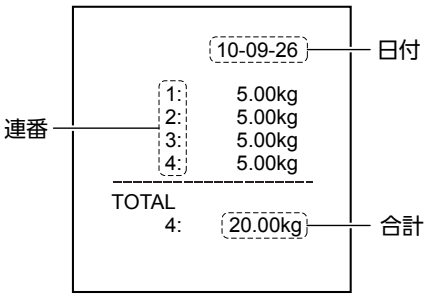
CR=0DH
LF=0AH

伝送仕様

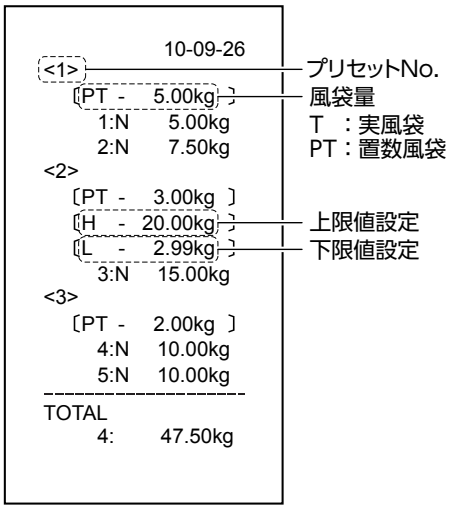
伝送方式	無手順
同期方式	調歩同期
伝送コード	ASCⅡコード
伝送速度	設定モード“F09”で設定（デフォルト：2400bps）
信号レベル	RS-232C 準拠
データフォーマット（全て固定）	スタートビット：1 データビット：　8 ストップビット：2 パリティビット：なし

10. ジャーナルプリンタ印字イメージ

<連票>



<連票(風袋引きあり)>



11. 日常のお手入れ・清掃方法

日常のお手入れ

水を含ませた柔らかい布で外面を拭き取ってください。その後、から拭きしてください。

清掃方法

注　記

お手入れや清掃を行う際、オプション機器のACアダプタを使用している場合は、安全のためにAC アダプタの差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

注　記

オプション機器のACアダプタを接続している場合は、絶対に水洗いしないでください。表示部に防水性はありません。

清掃箇所	清掃方法
計量皿	① 計量皿を計量部から取り外して、水でうすめた中性洗剤を含ませた布または柔らかいブラシで表面を擦ってください。その後、水洗いして、乾燥させてください。 ② 計量皿を計量部から取り外して、70～90℃の温水に約30分浸し、その後乾燥させてください。 ・やけどをしないようにしてください。
計量皿以外の 計量部、支柱、表示部	① 外面を常温の水で水洗い後、乾燥させてください。 ・洗剤や薬品は使用しないでください。 ・計量皿を取り外した後の計量部に、ブラシ、固形物や突起物が触れないようにしてください。

12. 困ったときに

本機を使用中に何らかの原因でエラーが生じた場合は、以下の表を参照し、対応してください。

症状	対処方法
電源 入/切 ボタンを押しても表示がつかない。	① 電池が消耗していないか確認してください。
電源 入/切 ボタンを押したとき、表示チェック後「0」表示にならない。	① はかりを安定した床面または台にのせてください。 ② はかりの上に物がのっていないか確認してください。 ③ 水平調整脚が浮いていないか確認してください。 ④ 強い風が直接当たらない場所に置いてください。
重さ表示が安定しない。	① はかりを安定した床面または台にのせてください。 ② 水平調整脚が浮いていないか確認してください。 ③ 風が直接当たらない場所に置いてください。 ④ 商品が支柱にさわっていないか確認してください。

※上記以外の症状が発生した場合は、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

13. 付録

数字以外で表示される文字とアルファベットの対比表を以下に示します。

A	
B	
C	
D	
E	

F	
G	
H	
I	
J	

K	
L	
M	
N	
O	

P	
Q	
R	
S	
T	

U	
V	
W	
X	
Y	

Z	

14. 標準仕様

■IWR-B

2026年 5月現在

名称		IWR-150B	IWR-60B	IWR-30B
ひょう量		150kg	60kg	30kg
目量		20g (0～60kg) 50g (60～150kg)	10g (0～30kg) 20g (30～60kg)	5g (0～15kg) 10g (15～30kg)
風袋引き範囲		59.98kg	29.99kg	14.995kg
表示方法		液晶によるデジタル表示		
チェッカー機能		多い、OK、少ない		
その他機能		上限／下限／風袋プリセット（10 個）		
寸法	本体	380 (W)×640 (D)×630 (H)		350 (W)×460 (D)×425 (H)
	計量皿	380 (W)×530 (D)		350 (W)×350 (D)
保護等級		IP65 準拠 ただし、オプション接続時は表示部のみ非防水		
本体重量		18kg（電池2本含む）		10kg（電池2本含む）
精度等級		Ⅲ級		
消費電力		約 1W (AC アダプタ使用時)		
電池寿命		アルカリ電池使用時：約1000 時間 マンガン電池使用時：約400 時間 注）乾電池は、メーカー型式や保存状態、使用環境により性能が大きく変わります。		
AC アダプタ入力		専用 AC アダプタを使用してください。		
オプション	スタンド	別置支柱、卓上スタンド（壁掛兼用）		
	計量部	ビート皿、計量部バンパー、コロコン皿（縦／横）		－
	関連部品	AC アダプタ		
	連動機器	ジャーナルプリンタDAP-IW、大音量ブザー 注）連動機器はすべてAC アダプタ接続時のみ使用可／非防水 ジャーナルプリンタDAP-IW と大音量ブザーは外部出力共用のため併用不可		

■IWR-G

名称		IWR-6000G
ひょう量		6000g
目量		1g (0～3000g) 2g (0～6000g)
風袋引き範囲		2999g
表示方法		液晶によるデジタル表示
チェッカー機能		多い、OK、少ない
その他機能		上限／下限／風袋プリセット（10 個）
寸法	本体	200 (W)×360 (D)×360 (H)
	計量皿	200 (W)×250 (D)
保護等級		IP65 準拠 ただし、オプション接続時は表示部のみ非防水
本体重量		5kg (電池2本含む)
精度等級		Ⅲ級

消費電力		約 1W（AC アダプタ使用時）
電池寿命		アルカリ電池使用時：約1000時間 マンガン電池使用時：約400時間 注）乾電池は、メーカー型式や保存状態、使用環境により性能が大きく変わります。
AC アダプタ入力		専用 AC アダプタを使用してください。
オプション	関連部品	AC アダプタ
	連動機器	ジャーナルプリンタDAP-IW、大音量ブザー 注）連動機器はすべてAC アダプタ接続時のみ使用可／非防水 ジャーナルプリンタDAP-IW と大音量ブザーは外部出力共用のため併用不可

■IWR-X

名称		IWR-150X	IWR-60X	IWR-30X
ひょう量		150kg	60kg	30kg
目量		20g (0〜60kg) 50g (60〜150kg)	10g (0〜30kg) 20g (30〜60kg)	5g (0〜15kg) 10g (15〜30kg)
風袋引き範囲		59.98kg	29.99kg	14.995kg
表示方法		液晶によるデジタル表示		
チェッカー機能		多い、OK、少ない		
その他機能		上限／下限／風袋プリセット（10 個）		
寸法	本体	380 (W)×640 (D)×630 (H)		350 (W)×460 (D)×425 (H)
	計量皿	380 (W)×530 (D)		350 (W)×350 (D)
保護等級		IP65 準拠 ただし、オプション接続時は表示部のみ非防水		
本体重量		18kg		10kg
精度等級		Ⅲ級		
消費電力		1.5W		
オプション	スタンド	別置支柱、卓上スタンド（壁掛兼用）		
	計量部	ビート皿、計量部バンパー、コロコン皿（縦／横）		−
	連動機器	ジャーナルプリンタ DAP-IW、リレーBOX RB-IW、大音量ブザー 注）連動機器はすべて非防水 ジャーナルプリンタDAP-IW と大音量ブザーは外部出力共用のため併用不可		

※上記の仕様は、製品改良にともない予告なしに変更する場合があります。

メモ

ISHIDA
株式会社イシダ

本社　京都市左京区聖護院山王町44番地　〒606-8392　TEL. 075-751-7104
東京支社　東京都板橋区板橋1丁目52番1号　〒173-0004　TEL. 03-3964-6204

取扱店